

2. 指標設定

成果指標	指標名	適正な処理	目標年度	H23	指標の設定理由		
	数値	—			安定した処理を行ない、水質の向上に努める		
活動指標	指標	a 施設維持管理の適正化	b	施設の基幹改良	c	外部委託の検討	
	数値	目標 適正な処理をして経費の削減	目標	処理方式及び機器類の改良	目標	機械等整備委託の検討	目標

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H20	H21	H22
適正な処理		—	—	—

活動指標名	単位	H20	H21	H22
a 維持管理の適正化	リットル	280,000 ㍻	288,000 ㍻	238,000 ㍻
b 施設の期間改良		—	—	—
c 外部委託の検討		—	—	—
d				

4. 課題と対応

課題
膜分離装置の膜の寿命が短いため、膜に変わるものが必要である
対応（改善点等）
現在検討中である

5. 事業費・・・H20～H22（決算額）、H23（予算現額）

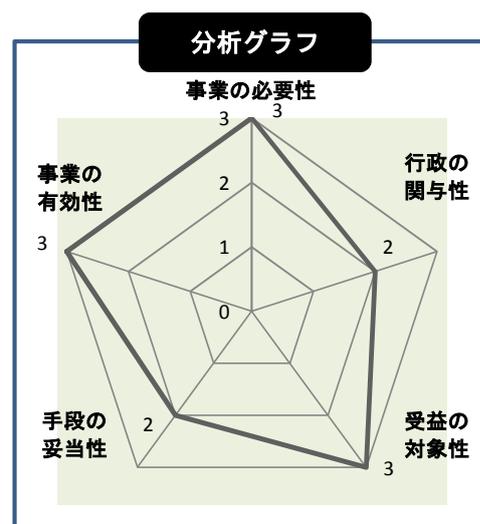
決算額（千円）		H20	H21	H22	H23
うち経常経費		143,170	113,448	138,335	137,972
財源内訳	国費				
	県費				
	市債				
	その他	33,129	23,562	23,573	23,454
	一般財源	110,041	89,886	114,762	114,518
うち経常		110,041	89,886	114,762	114,518
事業費に係る人件費		19,103	19,200	19,709	19,350

6. H24年度予算の方向性

方向性
増額
理由
施設も9年目となり、機器類の整備や膜分離装置の変更を予定している

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 一般廃棄物は、関係町村が処理しなければならない（廃棄物の処理及び清掃に関する法律）
② 行政の関与性	責任領域の精査	2 事業主体は市であるが、機械の整備等検討の余地がある
③ 受益の対象性	事業対象の確認	3 豊後大野市、臼杵市野津町の住民の処理施設である
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	2 検討の余地がある
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	3 放流水等適正な範囲であり、取組ができています



8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	ランニングコストも視野に入れ精査し検討すること